

シグマ研究委員会核データ専門部会  
ガンマ線生成核データ W.G. 昭和 56 年度第 6 回会合議事録

日 時 昭和 56 年 11 月 16 日 ( 月 ) 13 : 30 ~ 17 : 30  
場 所 原研本部 第 4 会議室  
出 席 者 水本 ( 原研 ) , 吉田 , 川合 ( NAIG ) , 河北 ( MAPI ) ,  
井頭 , 播磨 , 北沢 ( 東工大 )

配布資料 :

- 1) ガンマ線生成断面積のファイル化と応用 ( 川合 )

作業経過報告 :

- 1) 11/26, 27 日に行なわれる核データ研究会で講演する井頭, 水本, 川合氏に, ガンマ線データの現状, 理論, 計算方法, データのファイル化について話を聞いた。
- 2) 昭和 56 年 3 月まで Computer Program TNG, GNASH の使用を試みる。TNG は JAERI ( 主として水本 ) , GNASH は NAIG, 船研, 東工大が担当する。また, 東工大と NAIG で GROGI に前平衡過程の寄与を含めることを検討する。
- 3) 次回までに, 14.5 MeV 中性子による  $^{56}\text{Fe}$  からの放出中性子スペクトルおよびガンマ線スペクトルを TNG 及び GROGI で計算し Program のクロス・チェックを行なう。